

(3) 生活環境

【現状と課題】

- 少子高齢化や核家族化の進行、地域における人間関係の希薄化に加え、高度情報化社会の進展、SNS の普及など、市民の日常生活を取り巻く環境が大きく変化する中、住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりが求められている。
- 本市では、町内会の防犯灯新設・更新・維持への支援や関係機関と連携した交通安全、防犯意識の啓発、各種講座の開催や相談機能の充実などによる消費生活の向上などに取り組んでいる。
- また、市民の日常生活や地域の産業を支える基礎的な社会基盤である道路環境の整備や維持管理、冬期間の良好な路面状況の維持に向けた除排雪体制の整備のほか、平成 27 年度に合同納骨塚を整備するなど、多様な市民ニーズを踏まえた墓地や火葬場の整備などをすすめている。
- 今後も、高齢者をはじめとしたドライバーや歩行者の交通安全に対する意識向上や被害防止に向けた消費者意識の向上、老朽化がすすむ道路、橋りょう施設の計画的な改修、更新、火葬件数の増加に対応した火葬場の計画的な長寿命化などにより、市民が安心して暮らせる環境づくりをすすめることが必要となっている。

【第六期帯広市総合計画における主な取り組み】

- 町内会の防犯灯新設・更新・維持への支援
- 交通安全意識の啓発、交通安全運動の推進
- 交通安全注意喚起看板の設置、通学路などの歩道の再整備
- 消費生活アドバイスセンターにおける消費生活相談の実施
- 消費者講座等の開催
- 都市計画道路、生活道路の整備
- 市道、道路照明灯等の維持管理
- 橋りょうの長寿命化対策の実施
- 道路除雪の実施、パートナーシップ除排雪の促進
- 墓地（緑ヶ丘墓地、つつじが丘霊園、中島霊園など）、火葬場の維持管理

【今後の取り組みの方向性】

- 道路環境の整備や交通安全・防犯の推進、消費生活の向上などをすすめ、市民が安心して暮らせる生活環境の確保をはかる。

＜論点例＞

- 安心して暮らせる生活環境の確保のために、市民と行政がどのような役割のもと交通安全・防犯の推進などの取り組みをすすめるべきか。

平成29年度 施策評価表

総合計画体系	まちづくりの目標		1 安全に暮らせるまち	評価担当部	市民活動部
	政策	1-2 安心して生活できるまちづくり			
	施策	1-2-1 防犯の推進	関 係 部		
	施策の目標	防犯意識の啓発や安全な生活環境の整備などにより、犯罪のない地域社会づくりをすすめます。			

1. 成果指標による判定

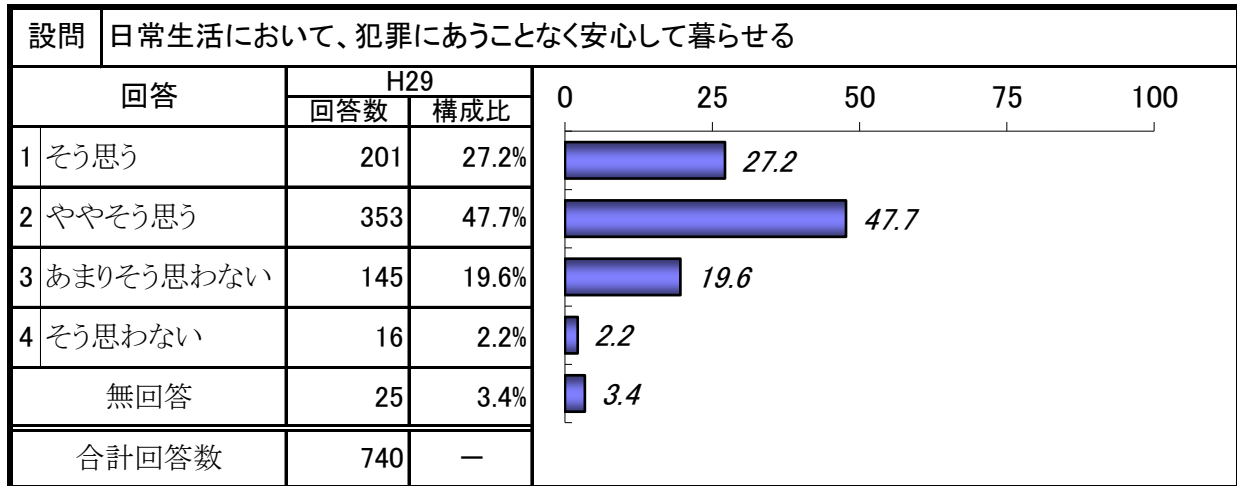
成果指標		単位	H28(実績) H28(目標)	判定	実績値の年次推移																																		
1	犯罪の発生件数	件	853	a	<table><caption>犯罪の発生件数の年次推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17-19 (基準)</td><td>1,922</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>1,565</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>1,438</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>1,548</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>1,445</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>1,304</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>1,325</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>1,113</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>853</td><td></td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>1,540</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H17-19 (基準)	1,922		H21	1,565		H22	1,438		H23	1,548		H24	1,445		H25	1,304		H26	1,325		H27	1,113		H28	853		H31 (目標)		1,540
			年度				実績値	目標値																															
H17-19 (基準)	1,922																																						
H21	1,565																																						
H22	1,438																																						
H23	1,548																																						
H24	1,445																																						
H25	1,304																																						
H26	1,325																																						
H27	1,113																																						
H28	853																																						
H31 (目標)		1,540																																					
1,636																																							
2	防犯灯の新設灯数	灯	1,190	a	<table><caption>防犯灯の新設灯数の年次推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H22</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>250</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>410</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>747</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>1,032</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>1,112</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>1,190</td><td></td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>675</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H22	100		H23	250		H24	410		H25	747		H26	1,032		H27	1,112		H28	1,190		H31 (目標)		675						
			年度				実績値	目標値																															
H22	100																																						
H23	250																																						
H24	410																																						
H25	747																																						
H26	1,032																																						
H27	1,112																																						
H28	1,190																																						
H31 (目標)		675																																					
555																																							
成果指標による判定				a	<table><thead><tr><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>●</td></tr></tbody></table> <table><thead><tr><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>◆</td></tr></tbody></table>		実績値	●	目標値	◆																													
実績値																																							
●																																							
目標値																																							
◆																																							

2. 成果指標の実績値に対する考え方

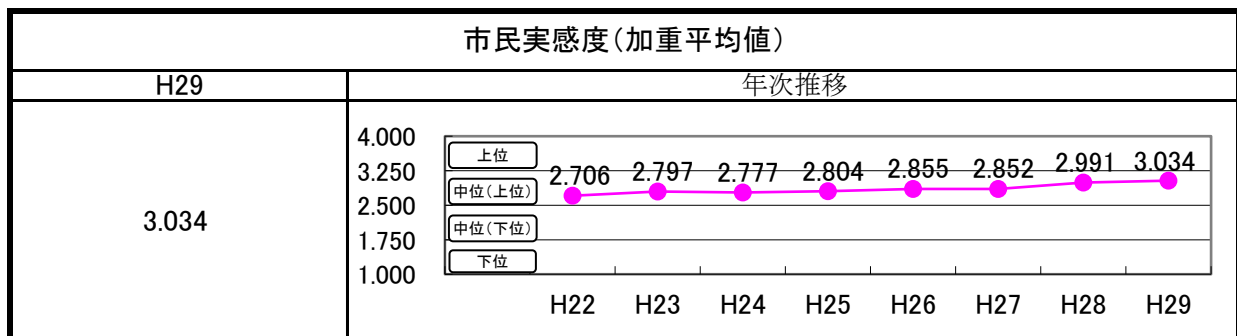
「犯罪の発生件数」は、前年より260件減少し、853件となり、目標値を達成しています。特に、施錠など自主対策が有効な自転車盗や車上狙いの発生件数が減少しており、広報紙・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を通じた市民への防犯対策の情報提供、注意喚起や防犯協会などの自主防犯組織の活動が、市民の自主的な防犯への取り組みにつながってきているものと考えます。

「防犯灯の新設灯数」は、前年に比べ78灯増加し、累計で1,190灯となり、目標値を達成しています。平成25年度からのリース方式の導入などで設置コストが下がり、防犯灯の設置がすすんだものと考えます。

3. 市民実感度による判定



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由		H29	
		回答数	構成比
a	防犯に関する意識が低いから	17	11.6%
b	暗がりや人目につきにくい場所があるから	52	35.6%
c	身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから	58	39.7%
d	地域で見守る防犯活動が十分でないから	11	7.5%
e	その他	8	5.5%
有効回答数		146	—



市民実感度による判定

b

4. 市民実感度調査結果に対する考え方

市民実感度は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計回答数の割合が74.9%となっており、中位(上位)にあります。犯罪の発生件数の減少等が一定程度市民に評価されたものと考えます。

一方で、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を選んだ理由としては「身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから」の割合が最も多く、次いで「暗がりや人目につきにくい場所があるから」となっています。様々な機会を用いた自主防犯の啓発などにより、犯罪発生件数は減少傾向にあります。

平成29年度 施策評価表

総合計画体系	まちづくりの目標		1 安全に暮らせるまち	評価担当部	市民活動部
	政策	1-2 安心して生活できるまちづくり			
	施策	1-2-2 交通安全の推進	関係部	都市建設部	
	施策の目標	交通安全意識の啓発や交通環境の整備により、交通事故のない安全な地域社会づくりをすすめます。			

1. 成果指標による判定

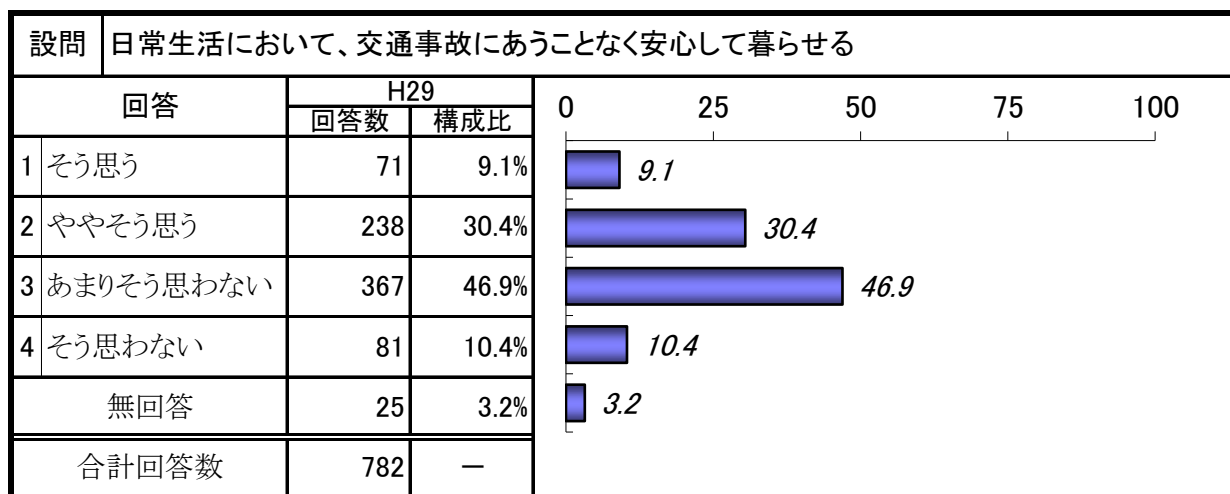
成果指標		単位	H28(実績) H28(目標)	判定	実績値の年次推移																																		
1	交通事故の発生件数	件	398	a	<table border="1"><caption>交通事故の発生件数実績値の年次推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17- (基準)</td><td>834</td><td>750</td></tr><tr><td>H21</td><td>670</td><td>750</td></tr><tr><td>H22</td><td>644</td><td>750</td></tr><tr><td>H23</td><td>556</td><td>750</td></tr><tr><td>H24</td><td>514</td><td>750</td></tr><tr><td>H25</td><td>463</td><td>750</td></tr><tr><td>H26</td><td>345</td><td>750</td></tr><tr><td>H27</td><td>371</td><td>750</td></tr><tr><td>H28</td><td>398</td><td>750</td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>750</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H17- (基準)	834	750	H21	670	750	H22	644	750	H23	556	750	H24	514	750	H25	463	750	H26	345	750	H27	371	750	H28	398	750	H31 (目標)		750
			年度				実績値	目標値																															
H17- (基準)	834	750																																					
H21	670	750																																					
H22	644	750																																					
H23	556	750																																					
H24	514	750																																					
H25	463	750																																					
H26	345	750																																					
H27	371	750																																					
H28	398	750																																					
H31 (目標)		750																																					
771																																							
2	交通安全教室の参加率	%	22.8	a	<table border="1"><caption>交通安全教室の参加率実績値の年次推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19 (基準)</td><td>18.4</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H21</td><td>20.6</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H22</td><td>20.9</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H23</td><td>21.4</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H24</td><td>20.0</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H25</td><td>22.9</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H26</td><td>20.9</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H27</td><td>21.4</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>22.8</td><td>20.0</td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>20.0</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H19 (基準)	18.4	20.0	H21	20.6	20.0	H22	20.9	20.0	H23	21.4	20.0	H24	20.0	20.0	H25	22.9	20.0	H26	20.9	20.0	H27	21.4	20.0	H28	22.8	20.0	H31 (目標)		20.0
			年度				実績値	目標値																															
H19 (基準)	18.4	20.0																																					
H21	20.6	20.0																																					
H22	20.9	20.0																																					
H23	21.4	20.0																																					
H24	20.0	20.0																																					
H25	22.9	20.0																																					
H26	20.9	20.0																																					
H27	21.4	20.0																																					
H28	22.8	20.0																																					
H31 (目標)		20.0																																					
19.5																																							
成果指標による判定				a	実績値 目標値																																		

2. 成果指標の実績値に対する考え方

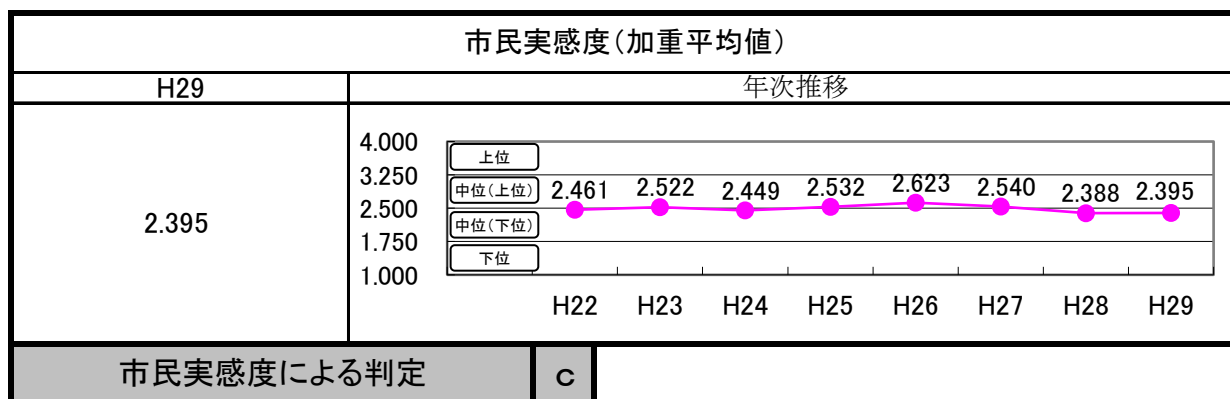
「交通事故の発生件数」は、前年より27件増加し398件となったものの、目標値を達成しています。関係機関や団体と連携し幅広く行っている交通安全啓発活動や、交通事故に遭いやすいとされる幼児・児童・生徒・高齢者を対象とした交通安全教室の実施などにより、市民の交通安全に対する意識が高まっていることが要因と考えます。

「交通安全教室の参加率」は、前年より1.4ポイント増加し22.8%となり、目標値を達成しています。児童数の減少に伴い、小学校での参加人数は横ばい傾向であるものの、福祉施設や大型イベントでの開催が増加するなど、参加機会の拡充に努めたことが要因と考えます。

3. 市民実感度による判定



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由		H29	
		回答数	構成比
a	交通ルールを守らない歩行者がいるから	20	4.9%
b	車や自転車を運転する人のマナーが悪いから	298	72.5%
c	危ない道路や交差点があるから	64	15.6%
d	その他	29	7.1%
有効回答数		411	—



4. 市民実感度調査結果に対する考え方

市民実感度は「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計回答数の割合が57.3%となっており、中位(下位)にあります。

実感が低い理由としては「車や自転車を運転する人のマナーが悪いから」を選んだ人の割合が最も多く、7割を超えています。ドライバーや自転車利用者に対し交通ルール・マナーの遵守を広く呼びかけているものの、市民の多くが日常の身近なところで交通事故に遭う危険性を感じていることがうかがえます。

平成29年度 施策評価表

総合計画体系	まちづくりの目標	1 安全に暮らせるまち	評価担当部	市民活動部
	政策	1-2 安心して生活できるまちづくり	関係部	
	施策	1-2-3 消費生活の向上		
	施策の目標	消費者への情報提供や相談機能の充実などにより、消費生活の安定・向上をはかります。		

1. 成果指標による判定

成果指標		単位	H28(実績) H28(目標)	判定	実績値の年次推移																																		
1	消費者講座等の参加人数	人	4,610	a	<table border="1"><caption>実績値の年次推移 (参加人数)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17- (基準)</td><td>3,300</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>3,233</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>2,500</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>3,589</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>4,617</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>4,400</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>4,318</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>4,756</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>4,610</td><td></td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>3,700</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H17- (基準)	3,300		H21	3,233		H22	2,500		H23	3,589		H24	4,617		H25	4,400		H26	4,318		H27	4,756		H28	4,610		H31 (目標)		3,700
			年度				実績値	目標値																															
H17- (基準)	3,300																																						
H21	3,233																																						
H22	2,500																																						
H23	3,589																																						
H24	4,617																																						
H25	4,400																																						
H26	4,318																																						
H27	4,756																																						
H28	4,610																																						
H31 (目標)		3,700																																					
		3,600																																					
2	消費生活相談の解決率	%	97.7	b	<table border="1"><caption>実績値の年次推移 (解決率)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17- (基準)</td><td>99.4</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>98.2</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>98.3</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>97.5</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>98.5</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>97.1</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>98.4</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>98.7</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>97.7</td><td></td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>99.6</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H17- (基準)	99.4		H21	98.2		H22	98.3		H23	97.5		H24	98.5		H25	97.1		H26	98.4		H27	98.7		H28	97.7		H31 (目標)		99.6
			年度				実績値	目標値																															
H17- (基準)	99.4																																						
H21	98.2																																						
H22	98.3																																						
H23	97.5																																						
H24	98.5																																						
H25	97.1																																						
H26	98.4																																						
H27	98.7																																						
H28	97.7																																						
H31 (目標)		99.6																																					
		99.6																																					
3	不合格計量器の出現率	%	0.3	a	<table border="1"><caption>実績値の年次推移 (出現率)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17- (基準)</td><td>2.0</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>1.4</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>0.7</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>1.1</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>0.0</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>0.3</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>0.2</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>0.5</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>0.3</td><td></td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>1.4</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H17- (基準)	2.0		H21	1.4		H22	0.7		H23	1.1		H24	0.0		H25	0.3		H26	0.2		H27	0.5		H28	0.3		H31 (目標)		1.4
			年度				実績値	目標値																															
H17- (基準)	2.0																																						
H21	1.4																																						
H22	0.7																																						
H23	1.1																																						
H24	0.0																																						
H25	0.3																																						
H26	0.2																																						
H27	0.5																																						
H28	0.3																																						
H31 (目標)		1.4																																					
		1.5																																					
成果指標による判定				a	実績値 目標値																																		

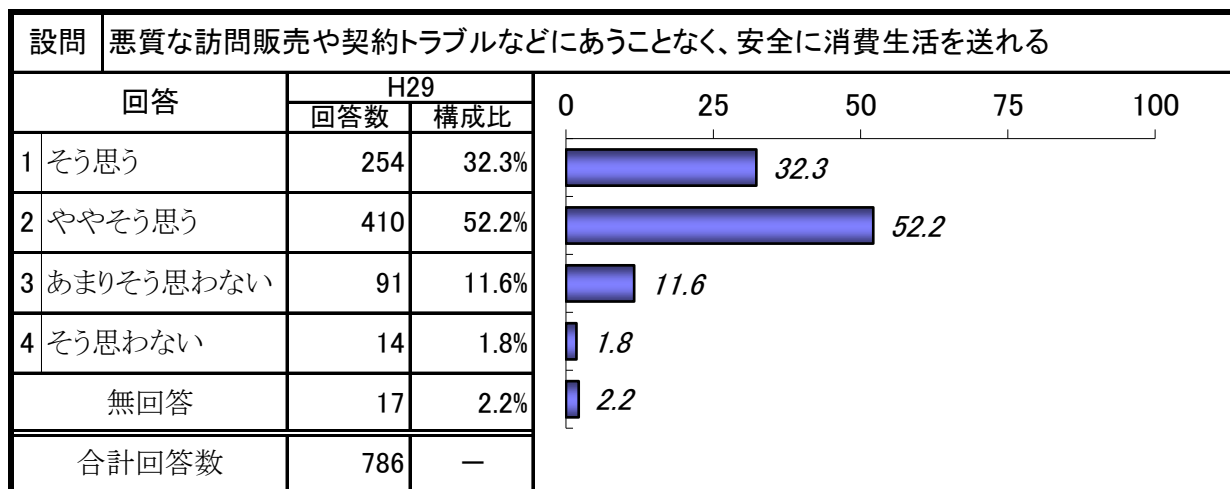
2. 成果指標の実績値に対する考え方

「消費者講座等の参加人数」は、前年に比べ146人減少したものの、目標値を上回っています。町内会等の団体を対象とした出前講座、高校生等の若年者を対象とした消費者被害予防教育講座、小・中学校における消費者教育講座のほか、各種会合等の場を活用した消費者被害予防啓発など、様々な機会を活用し幅広く講座等を開催したことが要因と考えます。

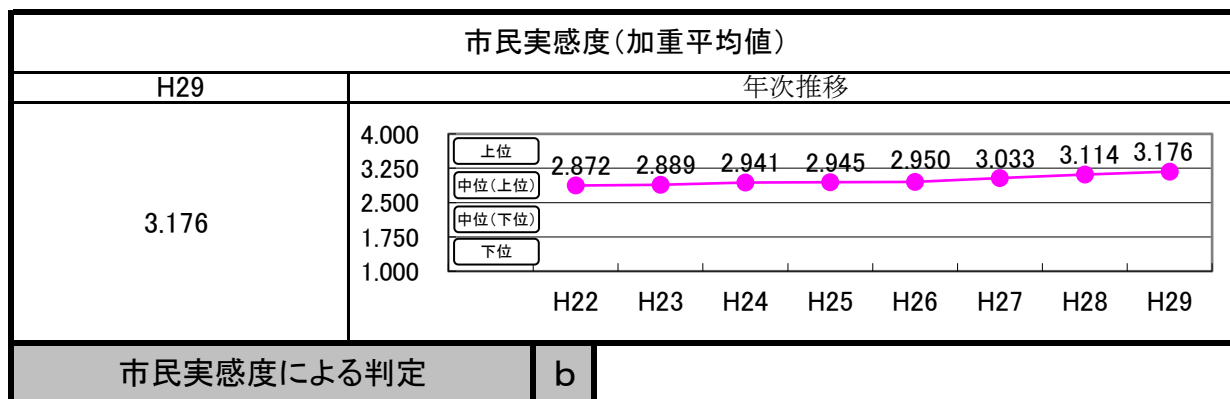
「消費生活相談の解決率」は、前年に比べ1.0ポイント低下し、目標値を下回っています。特殊詐欺や悪質商法など、複雑かつ巧妙な手口の犯罪が増加し、解決に至らなかった事案や、交渉の長期化により年度内に解決できなかった事案が、一定程度あることが要因と考えます。

「不合格計量器の出現率」は、前年に比べ0.2ポイント改善し、目標値を達成しています。全体として計量器の適正な管理が行われているものと考えます。

3. 市民実感度による判定



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由		H29	
		回答数	構成比
a	消費生活に関する情報提供が十分でないから	30	30.9%
b	消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから	22	22.7%
c	消費者トラブルの際の対処方法がわからないから	27	27.8%
d	その他	18	18.6%
有効回答数		97	—



4. 市民実感度調査結果に対する考え方

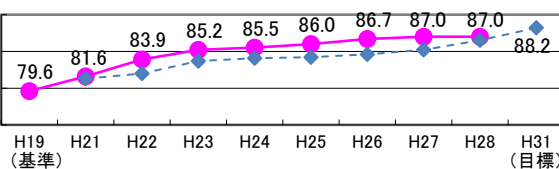
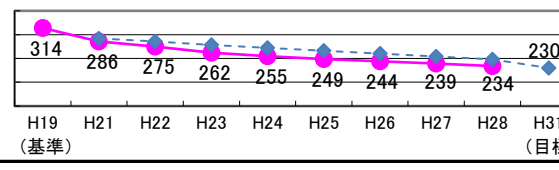
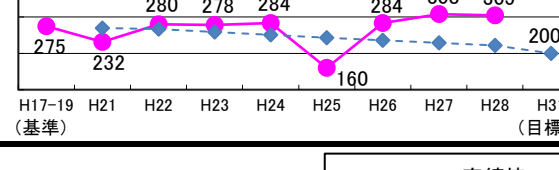
市民実感度は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計回答数の割合が84.5%となっており、中位(上位)にあります。消費生活の向上に向けた取り組みが一定程度市民に評価されたものと考えます。

一方、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を選んだ理由としては、「消費生活に関する情報提供が十分でないから」や「消費者トラブルの際の対処方法がわからないから」の割合が多くなっています。広報紙やホームページ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)、マスコミ媒体などを活用して情報提供を行ってきており、市民実感度は毎年着実に向上しています。

平成29年度 施策評価表

総合計画体系	まちづくりの目標		5 快適で住みよいまち	評価担当部	都市建設部
	政策	5-2 交流を支えるまちづくり			
	施策	5-2-1 道路網の整備		関係部	市民活動部
	施策の目標	幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行うとともに、歩行者や自転車 が利用しやすい環境を整備し、安全で快適な道路環境づくりをすすめま す。			

1. 成果指標による判定

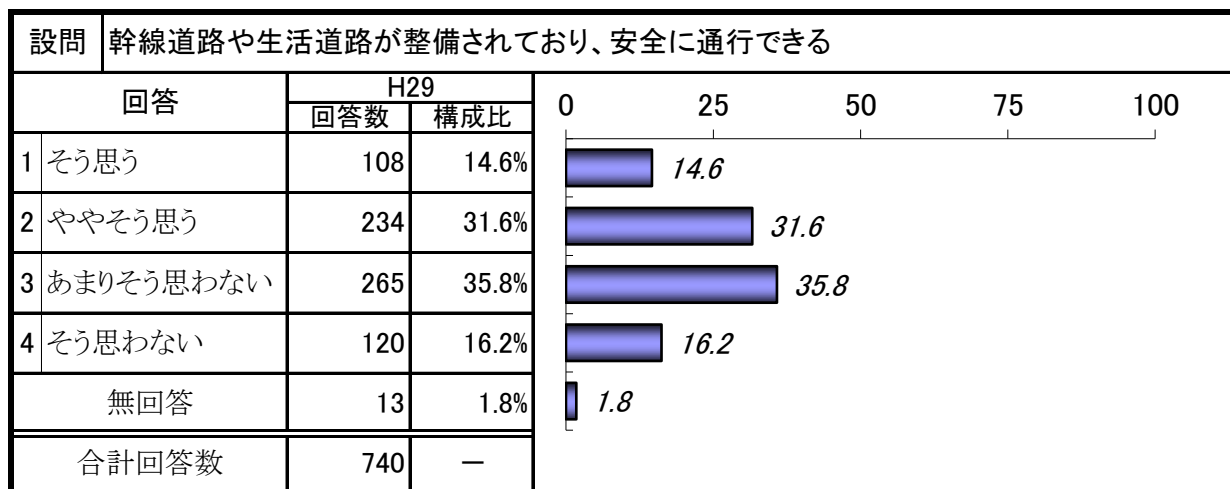
成果指標		単位	H28(実績) H28(目標)	判定	実績値の年次推移																																		
1	都市計画道路整備率(市道分)	%	87.0	a	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>79.6</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>81.6</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>83.9</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>85.2</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>85.5</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>86.0</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>86.7</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>87.0</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>87.0</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>88.2</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H19	79.6		H21	81.6		H22	83.9		H23	85.2		H24	85.5		H25	86.0		H26	86.7		H27	87.0		H28	87.0		H31		88.2
			年度				実績値	目標値																															
H19	79.6																																						
H21	81.6																																						
H22	83.9																																						
H23	85.2																																						
H24	85.5																																						
H25	86.0																																						
H26	86.7																																						
H27	87.0																																						
H28	87.0																																						
H31		88.2																																					
86.5																																							
2	特殊舗装の道路延長	km	234	a	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19</td><td>314</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>286</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>275</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>262</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>255</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>249</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>244</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>239</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>234</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>230</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H19	314		H21	286		H22	275		H23	262		H24	255		H25	249		H26	244		H27	239		H28	234		H31		230
			年度				実績値	目標値																															
H19	314																																						
H21	286																																						
H22	275																																						
H23	262																																						
H24	255																																						
H25	249																																						
H26	244																																						
H27	239																																						
H28	234																																						
H31		230																																					
248																																							
3	除雪1回当たりの苦情件数	件	305	d	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17-19</td><td>275</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>232</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>280</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>278</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>284</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>160</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>284</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>308</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>305</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>200</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H17-19	275		H21	232		H22	280		H23	278		H24	284		H25	160		H26	284		H27	308		H28	305		H31		200
			年度				実績値	目標値																															
H17-19	275																																						
H21	232																																						
H22	280																																						
H23	278																																						
H24	284																																						
H25	160																																						
H26	284																																						
H27	308																																						
H28	305																																						
H31		200																																					
222																																							
成果指標による判定				b																																			

2. 成果指標の実績値に対する考え方

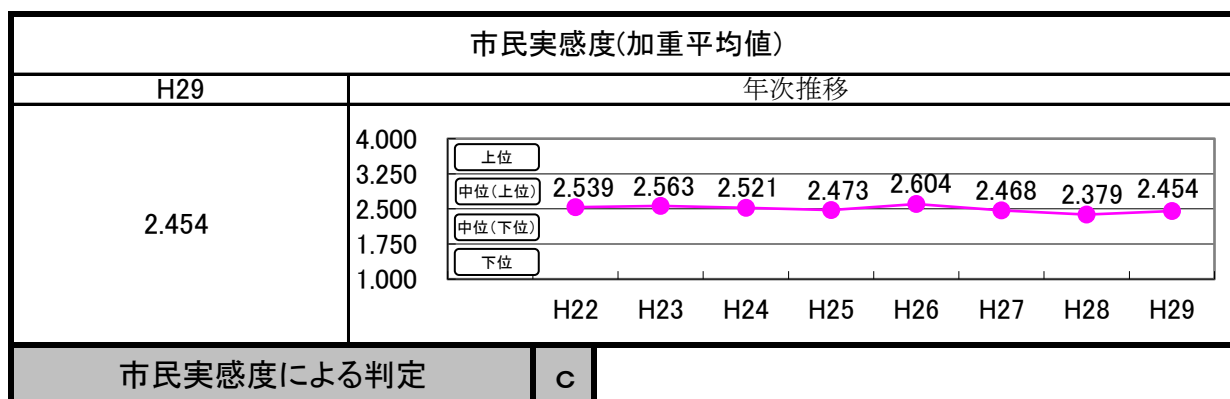
「都市計画道路整備率(市道分)」は、前年と変わらないものの目標値を上回っています。
「特殊舗装(※)の道路延長」は、前年に比べ5km減少し、目標値を上回っています。道路整備が順調にすすんだことにより、劣化した舗装の解消が順調にすすんでいると考えます。
「除雪1回当たりの苦情件数」は、前年に比べ3件減少し305件となりましたが、目標値を下回りました。昨年度は、一度にまとまった量の降雪が発生したことや、2月の季節外れの降雨など、気象条件が悪化したことが要因と考えます。

※特殊舗装:舗装表面の下に、砂利などの路盤を敷き詰めていない簡易な舗装。特殊舗装の道路延長を平成1年度の314kmから、平成31年度までに84km減らし、230kmとすることを目指している。

3. 市民実感度による判定



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由		H29	
		回答数	構成比
a	整備されていない道路があるから	46	12.8%
b	道路が適切に維持管理されていないから	42	11.7%
c	道路や歩道の除雪が十分でないから	248	69.1%
d	その他	23	6.4%
有効回答数		359	—



4. 市民実感度調査結果に対する考え方

市民実感度は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計回答数の割合が52.0%となっており、中位(下位)にあります。

実感が低い理由としては、「道路や歩道の除雪が十分でないから」を選んだ人の割合が最も多くなっています。気象条件の悪化により、一度にまとまった量の降雪などが発生したことや、帯広市総合除雪基本計画に基づき実施する市の除雪水準と、市民が求める除雪水準との間に乖離があることなどが要因と考えます。

平成29年度 施策評価表

総合計画体系	まちづくりの目標		5 快適で住みよいまち	評価担当部	市民環境部
	政策	5-1 快適で住みごこちのよいまちづくり			
	施策	5-1-3 墓地・火葬場の整備		関係部	
	施策の目標	市民ニーズに応じた墓地の整備と火葬場の適切な維持管理を行います。			

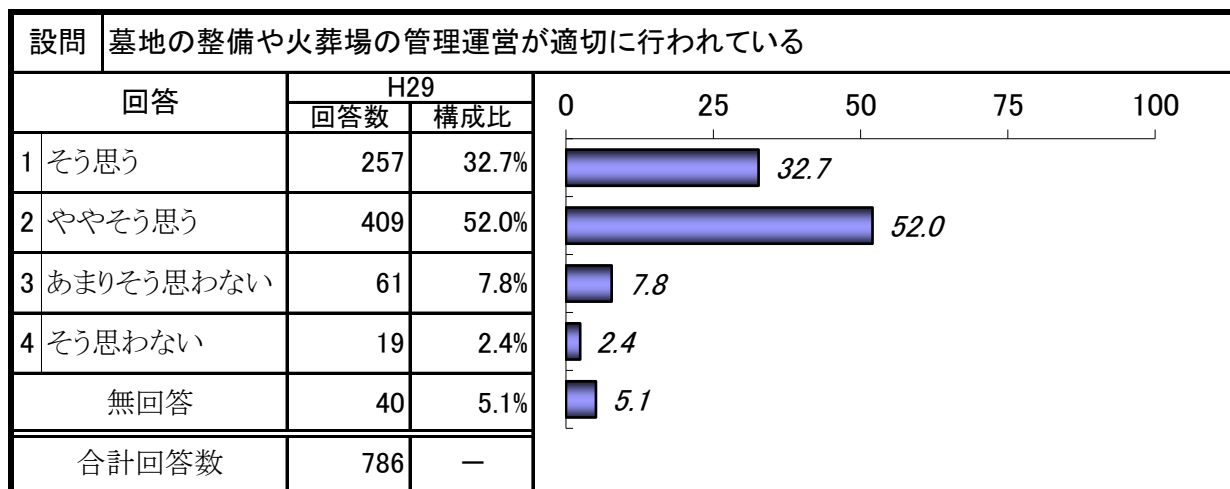
1. 成果指標による判定

成果指標		単位	H28(実績) H28(目標)	判定	実績値の年次推移																																		
1	中島霊園の貸出 区画数	区画	1,828	b	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H19 (基準)</td><td>909</td><td></td></tr><tr><td>H21</td><td>1,128</td><td></td></tr><tr><td>H22</td><td>1,265</td><td></td></tr><tr><td>H23</td><td>1,388</td><td></td></tr><tr><td>H24</td><td>1,505</td><td></td></tr><tr><td>H25</td><td>1,628</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>1,694</td><td></td></tr><tr><td>H27</td><td>1,774</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>1,828</td><td></td></tr><tr><td>H31 (目標)</td><td></td><td>2,630</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	H19 (基準)	909		H21	1,128		H22	1,265		H23	1,388		H24	1,505		H25	1,628		H26	1,694		H27	1,774		H28	1,828		H31 (目標)		2,630
			年度				実績値	目標値																															
H19 (基準)	909																																						
H21	1,128																																						
H22	1,265																																						
H23	1,388																																						
H24	1,505																																						
H25	1,628																																						
H26	1,694																																						
H27	1,774																																						
H28	1,828																																						
H31 (目標)		2,630																																					
			2,180																																				
成果指標による判定				b	<table><tr><td></td><td>実績値</td></tr><tr><td></td><td>目標値</td></tr></table>			実績値		目標値																													
	実績値																																						
	目標値																																						

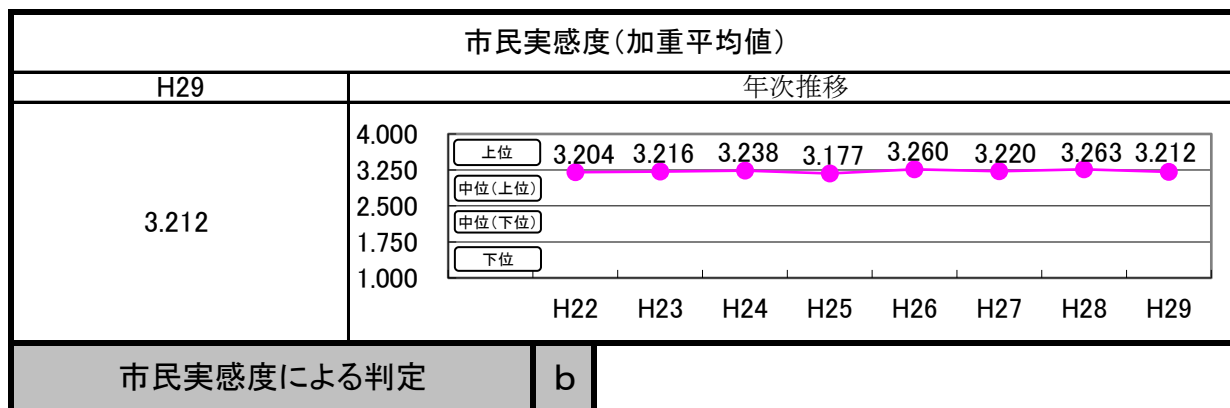
2. 成果指標の実績値に対する考え方

「中島霊園の貸出区画数」は、前年の貸出実績より減少し、目標値を下回っています。墓碑建設費用の増高のほか、少子化、核家族化 高齢化が進行し、埋葬に関する価値観の変化や墓地の管理・承継への懸念などを理由に、墓地の貸付けを先送りしたり、手控えたことが要因と考えられます。

3. 市民実感性による判定



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H29	
	回答数	構成比
a 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから	31	41.3%
b 墓地の管理が十分でないから	13	17.3%
c 火葬場の管理が十分でないから	4	5.3%
d その他	27	36.0%
有効回答数		75
		—



4. 市民実感性調査結果に対する考え方

市民実感性は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計回答数の割合が84.7%となっており、中位(上位)にあります。草刈りや危険木の除去など墓地の適切な管理や、合同納骨塚の整備など、市民ニーズに対応した墓地整備等を行ってきたことが一定程度市民に評価されたものと考えます。

一方で、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を選んだ理由としては、「市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから」が最も多くなっています。少子高齢化や核家族化に伴い、墓地に対する意識が変化し、市民ニーズが多様化していることがうかがえます。

帯広市フェイスブック リーチ数トップ30(平成24年12月～平成30年3月)

順位	タイトル	リーチ数
1	【防犯情報】空き巣犯人像の情報提供依頼について 帯広警察署より情報提供依頼があ	59364
2	【防犯情報】窃盗目的の住居侵入犯人画像の手配と情報提供依頼について 帯広警察	57611
3	【弾道ミサイル落下時の行動について】 弾道ミサイルが落下する可能性について報道	27088
4	【自然災害に便乗した詐欺にご注意ください！】 北海道警察 釧路方面本部から、次の	22052
5	【十勝の「うまい」を堪能する とかちマルシェスタート！】 JR帯広駅周辺に3日間限	18853
6	【帯広市災害状況発表(避難準備情報)】 帯広市災害状況発表(避難準備情報) 発	17878
7	【帯広の森に『もりの山』が誕生しました。】 帯広の森で平成23年から工事を進めてきま	16511
8	【生徒用の木製机・椅子を無償で提供します】 中学校で生徒が使用していた木製の机・	16370
9	【帯広市災害状況発表(避難準備情報 札内川沿い地域での避難所開設)】 発表日時	16120
10	【12月16日、帯広市に大雪警報が発表されました・小中学校が臨時休校になります】 写	15736
11	【クマ出没情報】 市街地においてヒグマの痕跡があったとの通報がありました。近辺に	14570
12	【防犯情報】不審者の出没について 帯広警察署より情報提供がありました。日時:12	14247
13	【JICA「農業地域における経営力、マーケティング強化による地場産業振興(A)」コース	13448
14	【第70回おびひろ平原まつり】 昭和22年に「平和まつり」として始まった十勝最大の夏祭	13256
15	【帯広市災害状況発表(避難準備情報の追加)】 発表日時 平成28年8月30日(火)19	12456
16	【防犯情報】住居侵入事件の発生 帯広警察署より情報提供がありました。日時:2月1	12329
17	【大雪に伴う帰宅困難者のための市役所の開放について】 3月1日の大雪により帯広	12137
18	【緊急・防犯情報】不審者の出没について 帯広警察署より情報提供がありました。日時	12104
19	【これから12月24日にかけての気象状況について】 帯広市では、今夜から明日の朝に	11882
20	【【防犯情報】住居侵入事件の発生について】 帯広警察署より情報提供がありました。	11101
21	【第54回おびひろ氷まつりのチラシが完成しました！】 ※ばんえい十勝会場の開催時	10970
22	【【防犯情報】住居侵入事件の発生について】 帯広警察署より情報提供がありました。	10958
23	【第54回おびひろ氷まつりのチラシが完成しました！】 各会場でのイベント、タイムスケジ	10946
24	【不審者の出没について】 帯広警察署から情報提供がありました。日時:3月15日午	10820
25	【防犯情報】不審者の出没について 帯広警察署より情報提供がありました。日時:4月	10803
26	【【避難勧告発令の追加】 帯広市災害状況発表】 発表日時 平成28年8月31日(水)	10171
27	《降雪関連情報》【帯広市街地で40～50センチの降雪】 帯広市に大雪、風雪、なだれ	9882
28	【防犯情報】不審者の出没(つきまとい)について 帯広警察署より情報提供がありまし	9812
29	【<ピンクリボンinおびひろ>10月15日(日)乳がん検診受付中です】 帯広市乳がん	9568
30	【市内小中学校の臨時休校のお知らせ】 明日19日(火)は低気圧に伴う天候悪化が予	9509

※リーチ数：オーガニックリーチ数とロコミリーチ数の総数。

(オーガニックリーチ数)

・投稿された記事を見られた数。

(ロコミリーチ数)

・投稿した記事をフォロワーがいいね！やシェアをすると、フォロワー自身のページにも同じ記事が掲載され、その記事が見られた数。

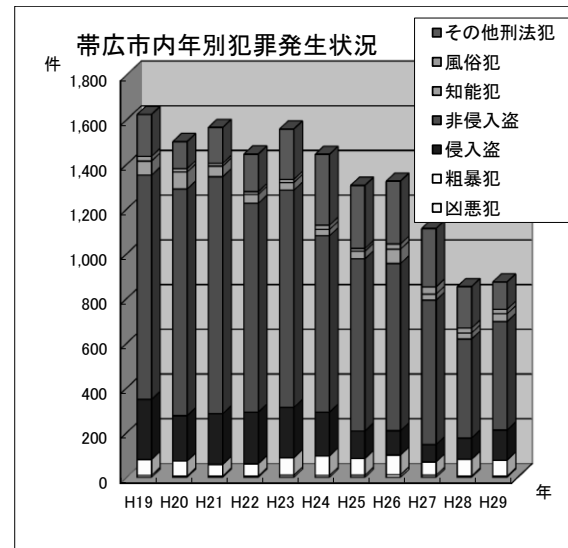
帯広市内年別犯罪発生状況

年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
凶悪犯	1	0	3	2	0	3	1	2	1	1	1
殺人	5	4	2	1	1	1	6	8	4	1	1
強盗	1	0	1	2	7	2	0	0	1	3	0
放火	2	2	0	1	2	3	3	2	4	1	4
強制性交等	9	6	6	6	10	9	10	12	10	6	6
小計	24	26	23	27	35	47	46	44	32	36	51
粗暴犯	28	26	23	20	31	35	26	34	22	32	15
傷害	9	9	2	5	4	3	3	4	4	2	5
脅迫	10	6	4	3	8	2	0	6	1	5	0
恫喝	71	67	52	55	78	87	75	88	59	75	71
小計	175	86	136	122	116	110	69	63	36	62	92
侵入盗	18	6	11	7	12	13	12	4	1	2	5
空き巣	1	8	3	4	3	1	0	0	2	0	0
金庫破り	32	35	28	21	13	14	4	4	2	4	6
事務所荒し	16	23	27	32	15	23	6	9	10	4	9
店舗荒し	0	4	0	3	2	0	4	0	0	0	0
給油所荒し	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
官署荒し	5	4	2	0	1	1	2	0	0	3	0
学校荒し	7	25	2	16	29	8	16	10	7	1	4
倉庫荒し	15	12	18	26	33	26	10	19	20	19	19
その他の他計	269	203	227	231	225	196	123	109	78	95	135
小計	171	230	193	196	178	207	198	180	133	110	148
非侵入盗	22	11	15	7	12	14	3	0	3	1	4
万引き	7	4	4	1	2	5	1	2	2	0	2
自動車盗	159	110	122	84	168	97	76	101	85	47	67
自転車盗	171	162	202	216	218	196	167	175	146	83	64
バイク盗	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
車上狙い	3	3	4	4	2	4	1	1	1	2	3
自販機狙い	92	104	191	148	97	53	71	39	57	17	7
部品の狙い	73	81	60	55	83	55	49	39	34	17	19
脱衣場狙い	19	8	41	11	4	9	26	39	32	14	8
置き引き	40	30	28	16	30	22	21	18	27	14	17
その他の他計	4	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0
小計	5	7	6	9	12	8	11	4	5	7	14
風俗	63	47	52	56	43	36	48	35	36	44	38
賭博	173	216	140	130	123	83	96	114	84	87	93
猥褻	1,003	1,014	1,060	934	972	789	770	748	646	443	485
小計	58	69	37	27	23	24	26	48	25	25	29
詐欺	0	2	5	1	0	1	2	2	2	2	3
横領	5	4	6	10	11	3	6	14	0	0	3
偽造	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
背任	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他の他計	63	76	48	40	34	28	34	64	27	27	35
小計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賭博	19	15	12	12	14	19	12	23	32	22	20
猥褻	21	15	12	12	14	19	12	23	32	22	20
小計	187	121	160	168	225	317	282	281	261	185	122
その他刑法犯	1,623	1,502	1,565	1,446	1,562	1,445	1,306	1,325	1,113	853	874
合計											

注1) 歴年集計(1月～12月) ※総計の件数 ※1,438 ※1,548 ※1,304

犯罪発生状況の推移

	全国	北海道	帯広警察署
S58	1,540,700	93,600	3,871
S59	1,588,700	94,200	3,871
S60	1,607,700	92,700	4,092
S61	1,581,400	86,700	4,111
S62	1,578,000	84,400	3,972
S63	1,641,300	87,500	4,381
H1	1,673,268	88,000	3,962
H2	1,636,628	83,900	4,131
H3	1,707,877	87,000	5,074
H4	1,742,366	86,000	5,032
H5	1,801,150	82,500	3,942
H6	1,784,432	79,400	3,751
H7	1,782,944	77,800	4,407
H8	1,812,119	76,000	3,767
H9	1,899,564	84,900	3,297
H10	2,033,546	82,700	3,919
H11	2,165,626	81,800	3,839
H12	2,443,470	86,800	3,630
H13	2,735,612	92,800	4,314
H14	2,853,739	94,100	4,063
H15	2,790,136	93,900	4,279
H16	2,562,767	88,300	3,823
H17	2,269,293	73,100	2,822
H18	2,050,850	65,400	2,815
H19	1,908,836	60,880	2,225
H20	1,826,833	59,733	2,138
H21	1,714,001	52,149	2,230
H22	1,604,205	51,229	1,995
H23	1,502,802	49,268	2,144
H24	1,403,270	45,490	1,942
H25	1,314,140	41,066	1,823
H26	1,212,163	40,360	1,803
H27	1,099,048	35,458	1,549
H28	996,120	32,013	1,140
H29	915,111	28,160	1,166



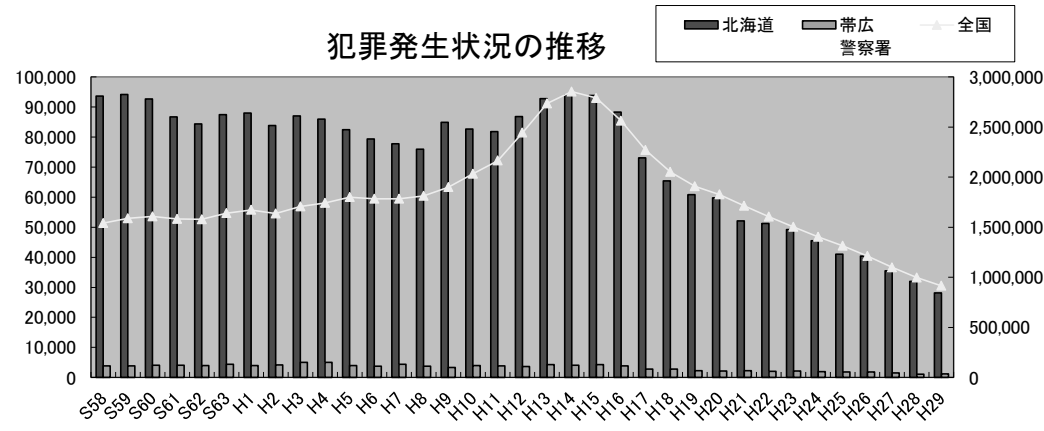
ふりこめ詐欺の推移

	認知件数	うち既遂	被害総額
H20	45	43	30,372,020
H21	7	7	6,450,000
H22	4	4	5,790,000
H23	8	8	11,346,800
H24	10	10	12,953,000

特殊詐欺の推移

	認知件数	被害総額
H25	7	約4,300万円
H26	9	約4,400万円
H27	9	約2,900万円
H28	9	約1,600万円
H29	3	約377万円

犯罪発生状況の推移



平成29年の刑法犯認知件数は874件で、昨年と比べ21件増加しました。

車上狙いが8件減少した一方で、空き巣が30件、施錠している自転車の盗難が20件増加するなど、防犯設備の充実やツーロックの励行に向けた啓発の推進が必要です。

また、特殊詐欺は、架空請求の葉書や還付金名目の電話が後を絶たない状況が続く中で、被害件数が3分の1、被害総額が4分の1未満と大幅に減少するなど、啓発や広報活動の成果が認められます。

引き続き、刑法犯認知件数の減少に向け、自転車盗や車上狙いはもとより、市民生活を脅かす空き巣や特殊詐欺の被害防止に向けた啓発や広報活動を関係機関・団体と連携して行います。

除雪延長の内訳

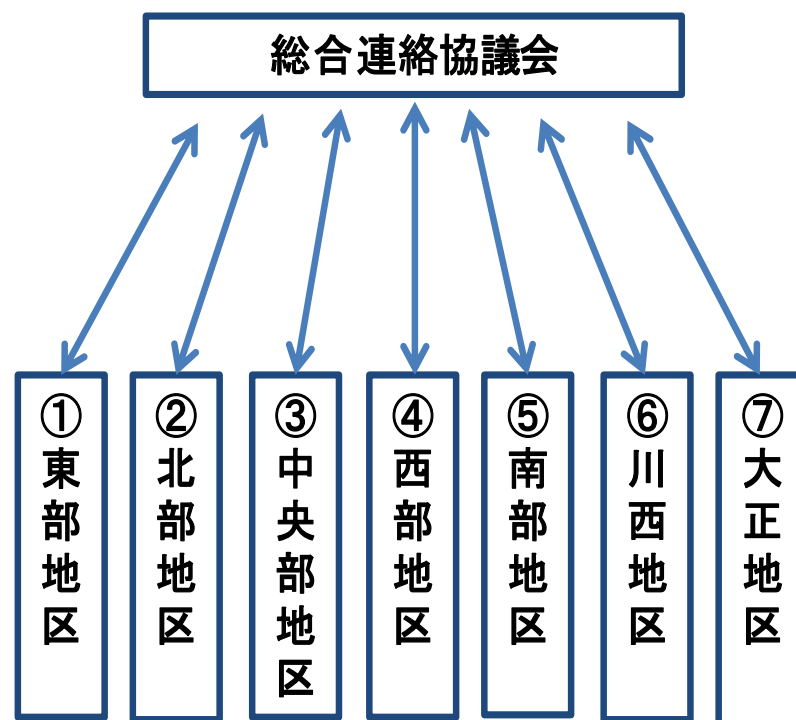
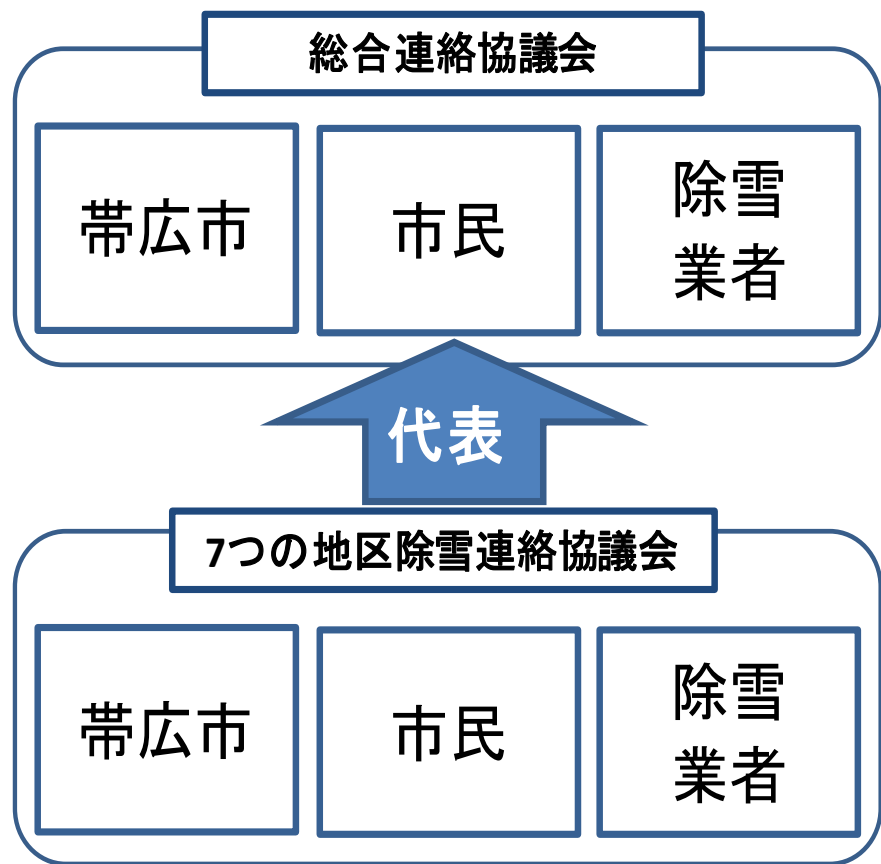
単位: km

区 分	車 道		歩 道	合 計
	幹線道路	生活道路		
市街地	295.4	554.2	451.1	1,300.7
川西・大正	368.0	132.9	14.3	515.2
合 計	663.4	687.1	465.4	1,815.9
	1,350.5			

市・市民・業者が連携



フードバレーとかわち



除雪区域割図

7ブロック

ブロック別業者

①東部地区	東日本道路	他11社
②北部地区	十勝舗道	他11社
③中央部地区	道路保全	他9社
④西部地区	東亜道路	他13社
⑤南部地区	日本道路	他8社
⑥川西地区	十勝道路	他5社
⑦大正地区	タイキ	他4社



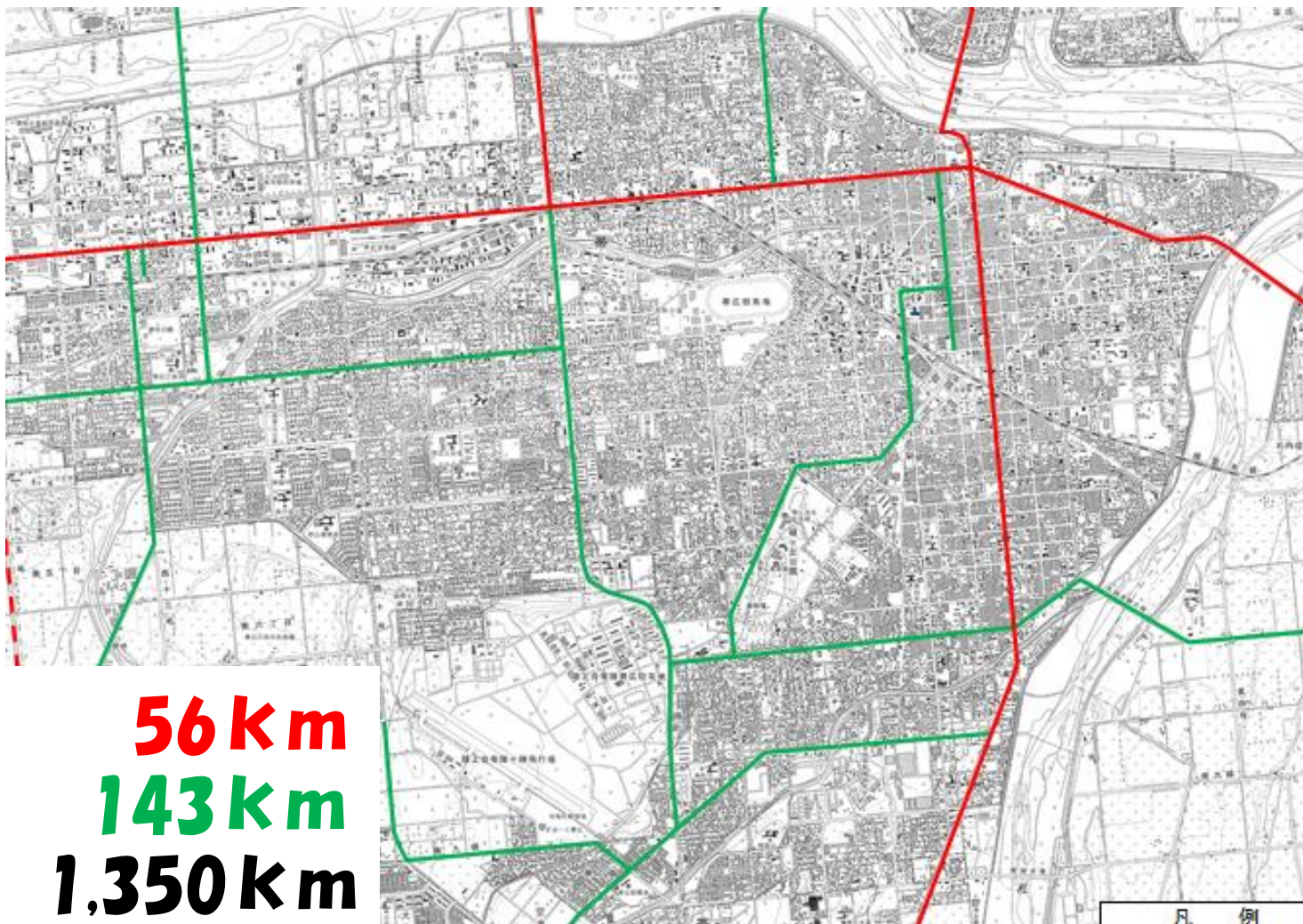
出勤基準と除雪時間

- ・ 出勤の目安とする降雪量
10～15cm
- ・ 除雪する時間帯
午後8時～翌朝6時頃まで
- ・ 除雪にかかる時間
10～12時間（積雪量20cm）

近隣3町との比較

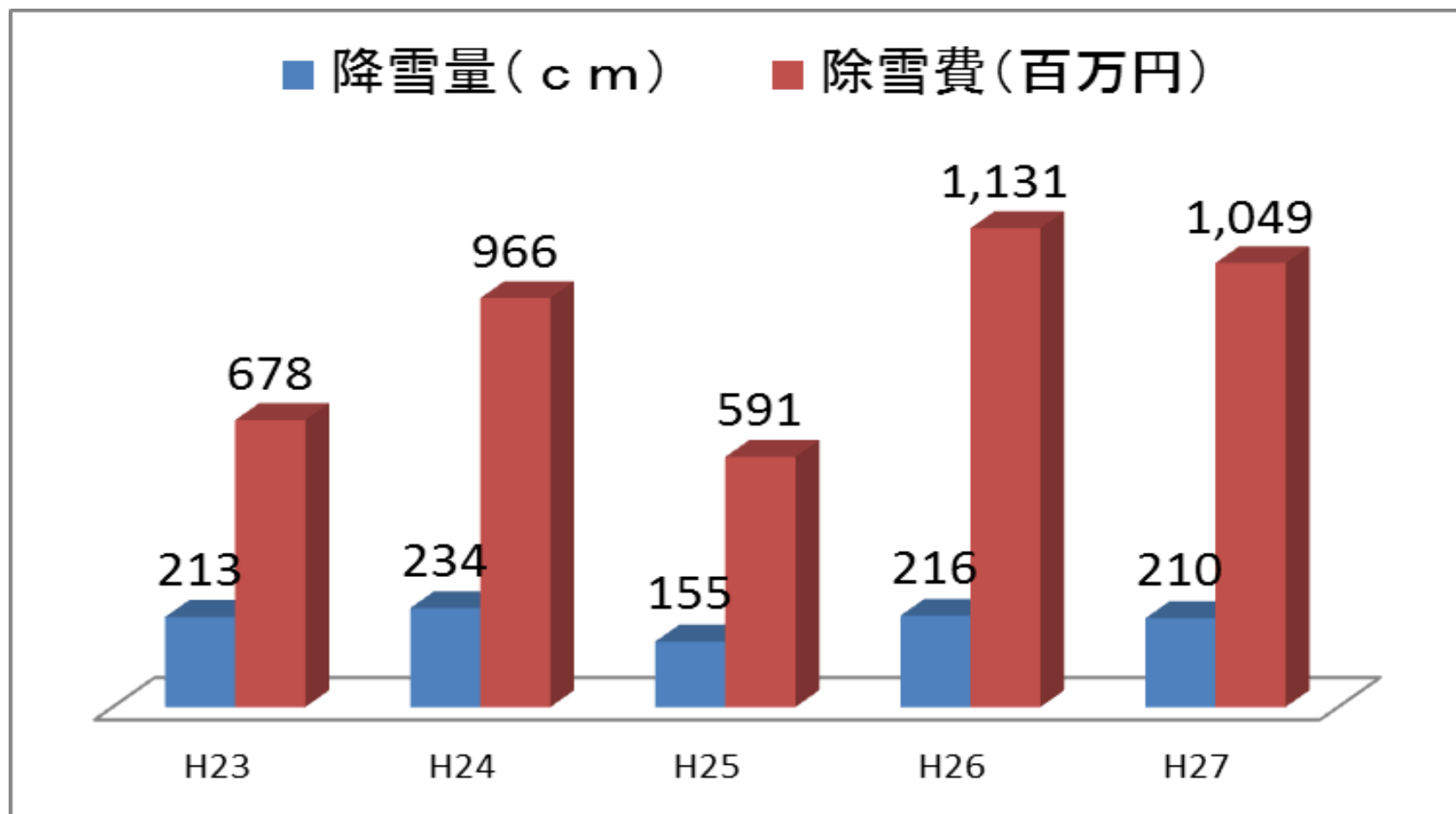
	除雪実施の目安	除雪時間
帯広市 (除雪延長:約1,815km)	10～15cm	10～12時間
音更町 (除雪延長:約1,133km)	10cm程度	5～10時間
芽室町 (除雪延長:約744km)	10～15cm	10～12時間
幕別町 (除雪延長:約767km)	10cmを超えたとき	8～10時間

国道・道道・市道の比較



国道	56 km
道道	143 km
市道	1,350 km

除雪費の推移（過去5年間）



平成27年度の除雪費 1世帯当たり 約12,100円

除雪 1 回当たりの費用（概算）



新雪除雪

5,800万円

雪山除去

1,600万円

拡幅除雪

1億2,000万円

一山
1.6万円

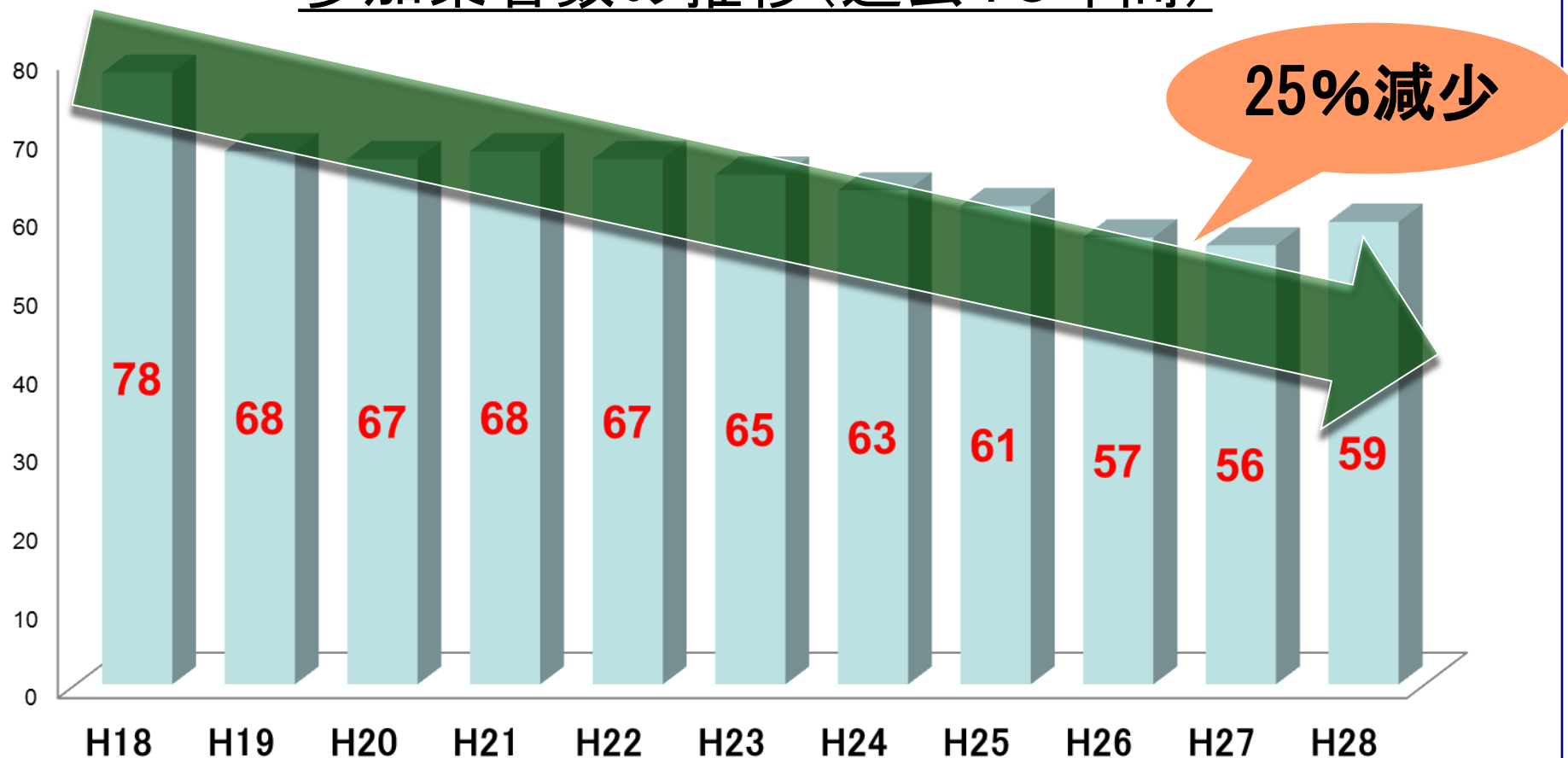
合計 1億9,400万円

1 km
40万円

除雪業者の減少

(単位:社)

参加業者数の推移(過去10年間)



オペレーターの担い手不足



- ・高齢化が進み、世代交代の最中
- ・若い人のなり手がなく、なかなか見つからない
- ・新たに見つけても、すぐに辞めていく

結果：**オペレーターが育たない**
⇒ 除雪技術が向上しない